



ミューザ川崎シンフォニーホール & 東京交響楽団

名曲全集 第213回

*MUZA Kawasaki Symphony Hall & Tokyo Symphony Orchestra
The Masterpiece Classics Series No. 213*

2025年12月6日(土)

Saturday, 6th December, 2025

ミューザ川崎シンフォニーホール

MUZA Kawasaki Symphony Hall

アンケートにご協力をお願いします
<https://gws-net.com/muza/>



音楽をお楽しみ
いただくために

皆様にコンサートを
お楽しみいただくために、
ご協力をお願いいたします。



開演中は、携帯電話・スマート
フォン・タブレット端末など音や
光を発する電子機器の電源をお
切りください。光を強く反射する
物は鞆におしまいください。



時計のアラーム・時報などは設
定の解除をお願いいたします。



ハウリングの発生を防ぐために、
補聴器などが正しく装着されて
いることをご確認ください。



演奏中の入退場はご遠慮くださ
い。全席指定の公演です。ご自分
の席でお聴きください。



許可のない写真撮影・録音・録
画は固くお断りいたします（カー
テンコール時を除く）。



演奏中に音が出ないよう十分
ご注意ください（鈴のついたお
手荷物・飴の包みを開ける際
の音・プログラムをめくる音など）。



演奏中の会話はお控えくださ
い。



演奏が終わったとき、音が消え
ゆく余韻を十分に味わってから
拍手・ブラボーなどの声援をお
送りください。



客席内での飲食はご遠慮くださ
い。



館内では咳エチケット・適切な
手指消毒を推奨しております。

カーテンコールの撮影について

「名曲全集」シリーズでは、終演後のカーテンコールの撮影が可能です。
撮影は自席にご着席のまま、周りのお客様へご配慮いただきますようお願いいたします。

- ※アンコール演奏中は撮影いただけません。
- ※フラッシュの使用、目線より高い位置での撮影はご遠慮ください。
- ※SNSなどに掲載する際は、ほかのお客様の映り込みにご注意ください。
- ※スマートフォン、携帯電話以外のカメラでの撮影、自撮り棒の使用はご遠慮ください。



ホール2階
ドリンクコーナー営業中

開演前のひとときにご利用ください。



ミューザ川崎シンフォニーホール&東京交響楽団

名曲全集 第213回

MUZA Kawasaki Symphony Hall & Tokyo Symphony Orchestra
The Masterpiece Classics Series No. 213

2025年12月6日(土) 14:00 Saturday, December 6th, 2025, 14:00
ミューザ川崎シンフォニーホール MUZA Kawasaki Symphony Hall

※本日の公演には、休憩はございません。
There will be no intermission.

ワーグナー：楽劇『ニュルンベルクのマイスタージンガー』第1幕への前奏曲 (10')
Richard Wagner: "Die Meistersinger von Nürnberg", Act I, Prelude

ベートーヴェン：交響曲 第9番 ニ短調 op. 125「合唱付き」 (70')
Ludwig van Beethoven: Symphony No. 9 in D minor, op. 125, "Choral"

- I アレグロ・マ・ノン・トロツポ・エ・ウン・ボーコ・マエストーソ
Allegro ma non troppo e un poco maestoso
- II モルト・ヴィヴァーチェ — プレスト
Molto vivace — Presto
- III アダージョ・モルト・エ・カンタービレ — アンダンテ・モデラート
Adagio molto e cantabile — Andante moderato
- IV フィナーレ：プレスト — アレグロ・アッサイ
Finale: Presto — Allegro assai

※演奏時間は目安です

指揮：下野竜也 ※当初発表から変更となりました
Tatsuya Shimono, Conductor

ソプラノ：三宅理恵
Rie Miyake, Soprano

テノール：山本耕平
Kohei Yamamoto, Tenor

管弦楽：東京交響楽団
Tokyo Symphony Orchestra, Orchestra

合唱：東響コーラス
Tokyo Symphony Chorus, Chorus

メゾ・ソプラノ：花房英里子
Eriko Hanafusa, Mezzo-Soprano

バス：妻屋秀和
Hidekazu Tsumaya, Bass

コンサートマスター：小林竜成
Issey Kobayashi, Concertmaster

合唱指揮：三澤洋史
Hirofumi Misawa, Chorusmaster

本日の公演は「ニコニコ東京交響楽団」(ニコニコ生放送) による無料生配信を行います。
客席内・舞台上に収録カメラが入っております。
なにとぞご了承ください。

視聴サイト「ニコニコ東京交響楽団」(会員登録不要)
<https://live.nicovideo.jp/watch/lv347297805>



主催：ミューザ川崎シンフォニーホール(川崎市文化財団グループ)
公益財団法人 東京交響楽団

助成：文化庁文化芸術振興費補助金(舞台芸術等総合支援事業(公演創造活動)) | 独立行政法人日本芸術文化振興会



©Shin Yamagishi

指揮 Conductor

下野竜也 Tatsuya Shimono

NHK交響楽団正指揮者、札幌交響楽団首席客演指揮者、広島ウインドオーケストラ音楽監督、広島交響楽団桂冠指揮者。鹿児島生まれ。2000年東京国際音楽コンクール、2001年ブザンソン国際指揮者コンクール優勝。国内主要オーケストラに定期的に招かれる一方、チェコ・フィル、バルセロナ響をはじめとした国際舞台でも活躍。オペラにおいても新国立劇場、二期会、日生劇場をはじめ注目の公演に招かれている。これまでに読売日本交響楽団正指揮者、同首席客演指揮者、京都市交響楽団常任首席客演指揮者、広島交響楽団音楽総監督を歴任。洗足学園音楽大学、東京藝術大学、東京音楽大学にて後進の指導にあたる。齋藤秀雄メモリアル基金賞、芸術選奨文部科学大臣賞、東燃ゼネラル音楽賞奨励賞、有馬賞、広島市民賞、中国文化賞など受賞多数。



ソプラノ Soprano

三宅理恵 Rie Miyake

東京音楽大学声楽演奏家コース卒業。同大学院首席修了後、渡米。特待奨学生として、バード音楽院修士課程修了。P.ヤルヴィ指揮『ドン・ジョヴァンニ』ツェルリーナ、新国立劇場『夜鳴きうぐいす』『オルフェオとエウリディーチェ』『子どもと魔法』、C.ミョンフン指揮『ファルスタッフ』ナンネッタ等出演。コンサートでも、F.ルイージ指揮「千人の交響曲」、小澤征爾指揮「第九」等で高い評価を得ている。東京音楽大学非常勤講師。二期会会員。



メゾ・ソプラノ Mezzo-Soprano

花房英里子 Eriko Hanafusa

京都市立芸術大学首席卒業、同時に京都市長賞受賞。東京藝術大学大学院および二期会オペラ研修所修了。第40回飯塚新人音楽コンクール第1位、第19回東京音楽コンクール第2位、聴衆賞受賞。A.パッティストーニ指揮『蝶々夫人』スズキ、L.シーニ指揮『ファルスタッフ』メグ、新国立劇場『魔笛』等出演。台湾フィルハーモニックおよび日越外交関係樹立50周年記念コンサート「第九」等コンサート・ソリストとしても好評を博している。二期会会員。



テノール Tenor

山本耕平 Kohei Yamamoto

東京藝術大学首席卒業、同大学院およびミラノ・ヴェルディ音楽院修了。二期会『ドン・カルロ』タイトルロール、『椿姫』アルフレード、『午後の曳航』登／3号等の他、ウィリアムズバーグ・オペラ『ラ・ボエーム』や日越外交関係樹立50周年記念『アニオー姫』等幅広く活躍。コンサートでもバッハ「ロ短調ミサ」、ロッシーニ「小荘厳ミサ曲」等多数出演。令和4年度鳥取県文化奨励賞受賞。米子市ふるさとPR大使。洗足学園音楽大学講師。二期会会員。



©takafumi ueno

バス Bass

妻屋秀和 Hidekazu Tsumaya

東京藝術大学卒業、同大学大学院オペラ科修了。ライブツィヒ歌劇場、ワイマールのドイツ国民劇場の専属歌手を務めたほか、これまでにベルリン・ドイツ・オペラ、ベルリン州立歌劇場、ライン・ドイツ・オペラ等に出演。日本でもその深みのある柔らかな歌声と重厚な演技で新国立劇場、びわ湖ホール、日生劇場、兵庫県立芸術文化センターやオーケストラ・コンサート、宗教曲のソリストとして活躍を続けている。紫綬褒章受章。

合唱 Chorus

東響コーラス Tokyo Symphony Chorus

東京交響楽団専属のアマチュア混声合唱団として1987年に創立。「東京交響楽団と一体の演奏をし、より質の高い合唱付きオーケストラ曲のコンサートを提供する」ことを目的としている。演奏する楽曲の背景や歌詞に使用されている言語に精通した合唱指揮者、発声指導者、伴奏ピアニスト、言語指導者を招き、公演毎に出演者を決定するオーディションを行うことで常に演奏の質を高めている。2020年第32回ミュージック・ペンクラブ音楽賞クラシック部門「室内楽・合唱部門」賞を受賞。

合唱指揮 Chorusmaster

三澤洋史 Hirofumi Misawa

国立音楽大学声楽科卒業。ベルリン芸術大学指揮科首席卒業。1999年から5年間「パイロイト音楽祭」で祝祭合唱団指導スタッフ。新国立劇場合唱指揮者を24年務め、現在は桂冠合唱指揮者。日本ワグナー協会評議員。



東京交響楽団

Tokyo Symphony Orchestra

1946年、東宝交響楽団として創立。1951年に改称し、現在に至る。
2004年7月より、川崎市のフランチャイズオーケストラとしてミュゼ川崎シンフォニーホールを拠点に定期演奏会や特別演奏会を開催し、市内での音楽鑑賞教室や巡回公演、川崎フロンターレへの応援曲の提供など多岐にわたる活動を行う。川崎市文化賞、文部大臣賞をはじめとする日本の主要な音楽賞のほとんどを受賞。新国立劇場開場時よりレギュラーオーケストラとして毎年オペラ・バレエ公演を担当し、教育面では「0歳からのオーケストラ」などが注目されている。海外公演も多く、ウィーン楽友協会を含む58都市80公演を開催。2024年より、アジア全体の音楽文化の向上を図る「東京交響楽団アジア・プロジェクト」を展開している。
日本のオーケストラとして初の音楽・動画配信サブスクリプションサービスや、VRオーケストラ、電子チケットの導入などITへの取組みも音楽界をリードしており、2020年ニコニコ生放送でミュゼ川崎シンフォニーホールからライブ配信した無観客演奏会は約20万人が視聴、2022年には史上最多45カメラで《第九》公演を配信した。2020年には「マッチングギフトコンサート」が川崎市の支援のもと開催され、自治体とオーケストラによる前例のない取組みが注目を集めた。
2014年シーズンより第3代音楽監督に就任した音楽監督ジョナサン・ノットとともに、日本のオーケストラ界を牽引する存在として注目を集めている。「モーツァルト 演奏会形式オペラシリーズ」、ミュゼ川崎シンフォニーホール開館15周年記念公演《グレの歌》に続き、「R.シュトラウス コンサートオペラシリーズ」は、音楽の友誌「コンサート・ベストテン」において、第1弾《サロメ》(2022年)が第2位、第2弾《エレクトラ》(2023年)が第1位に選出。2024年12月の第3弾《ばらの騎士》も大絶賛を博した。2026年4月より第4代音楽監督としてロレンツォ・ヴィオッティが就任予定、楽団創立80周年を迎える。 公式サイト：https://tokyosymphony.jp

音楽監督	ジョナサン・ノット	名誉コンサートマスター	大谷康子
桂冠指揮者	ユベール・スダーン	第1コンサートマスター	小川ニキティングレブ
正指揮者	原田慶太楼		景山昌太郎
名誉客演指揮者	大友直人		小林吾成
永久名誉音楽監督	秋山和慶	コンサートマスター	田尻 順
永久名誉指揮者	アルヴィド・ヤンソンス		吉江美桜*
	上田 仁		
	遠山信二		

第1ヴァイオリン ○木村正貴 ○堀内幸子 ○森岡ゆりあ 小川敦子 立岡百合恵 土屋杏子 中村楓子 水谷有里 吉川万理	ヴィオラ ○青木篤子 ○武生直子 ○西村真紀 ○多井千洋 ○山廣みほ 新井瑞穂 小西応興 鈴木まり奈	コントラバス 回助川 龍 ○ユーディ・ロズ・ブーム ○北村一平 ○久松ちず 安田修平 渡邊淳子 内岡沙月*	クラリネット ○エマニュエル・ヌグー ○吉野亜希菜 近藤千花子 務川広貴*	トランペット ○澤田真人 ○ローリー・ディラン 野沢岳史● 松山 萌	ティンパニ&打楽器 ○清水 太 ○山村雄大 武山芳史 綱川淳美	ライブラリアン 林 知也 加藤幸子
第2ヴァイオリン ○清水泰明 ○服部亜矢子 ○加藤まな ○福留史紘 河堀あずさ 小山あずさ 鈴木浩司 辻田薫り 阿部真弓 坂井みどり 吉田みのり*	チェロ ☆伊藤文嗣 ○川井真由美 内山剛博 蟹江慶行● 樋口泰世 福岡茉莉子 渡邊ゆかり	フルート 回相澤政宏 ○竹山 愛 フルート&ピッコロ 濱崎麻里子	ファゴット ○福士マリ子 ○福井 蔵 坂井由佳 前関祐紀	トロンボーン ○大馬直人 ○鳥塚心輔 住川佳祐 バストロンボーン 藤井良太	ハーブ 渡辺沙羅	ステージ マネージャー 西岡理佐 山本 聡
		オーボエ ○荒 絵理子 ○荒木良太 浦脇健太 オーボエ& イングリッシュホルン 最上峰行	ホルン ○上間善之 白井有琳 藤田麻理絵	テューバ 近藤陽一		栄誉団員 井伊 準●
☆ソロ首席奏者 回客演首席奏者 〇首席奏者 ○フオアシビュラー ●インスペクター *研究員 ◆故人						

ワーグナー：楽劇『ニュルンベルクのマイスタージンガー』第1幕への前奏曲

19世紀のドイツを代表する作曲家のひとり、リヒャルト・ワーグナー (1813~1883) の『ニュルンベルクのマイスタージンガー』は、1868年にミュンヘンで初演され成功を収めて以来、各地で繰り返し上演されている人気作です。音楽ばかりでなく台本もワーグナーが手がけました。舞台は16世紀のドイツ、ニュルンベルク。実在した「マイスタージンガー」(親方歌手)たちによる歌合戦をめぐる物語は進みます。この街にやってきた騎士ワルターと美しい娘エーファの恋物語を軸としながらも、ドイツ芸術の素晴らしさや崇高な精神を賛美することもこの作品の重要なテーマです。

ワーグナーが「作品の神髄」と呼んだ第1幕への前奏曲は、楽劇のダイジェストのような音楽です。つまり、4時間を超える長大な作品で聴かれるさまざまな動機がここで用いられ、ソナタ形式のなかで巧みに展開されます。

まずは冒頭、第1主題である「マイスタージンガーの動機」がハ長調で高らかに奏でられます。ワーグナーの言葉によれば、「マイスタージンガーたちがきらびやかな祝祭の装いに身を包んでニュルンベルクの民衆の前に行進して来る」場面です。続いてホ長調に転じる第2主題は、騎士ワルターとエーファの愛を表現する動機です。また、ファンファーレのような「ダヴィデ王の動機」も重要な要素として登場します。再現部では、これらのモチーフが対位的に組み合わせられます。そして最後に、再び「マイスタージンガーの動機」が輝かしく鳴り響き、前奏曲は閉じられます。全体を通して、前作『トリスタンとイゾルデ』での調性の崩壊寸前まで推し進められた半音階的な響きとは対照的に、全音階的で明快な三和音が基盤となっており、この作品の祝祭的な性格を際立たせています。

ベートーヴェン：交響曲 第9番 ニ短調 op. 125「合唱付き」

ルートヴィヒ・ヴァン・ベートーヴェン (1770~1827) の「交響曲第9番」は、彼の記念碑的な作品です。後世の作曲家たちにとっては、自らの道を切り拓くために直面せざるを得ない巨大な存在であり、多くの音楽家に大きな影響を与えてきました。たとえば、ワーグナーは自伝のなかで「ベートーヴェンの交響曲第9番の神秘的な感化によって、音楽の深層部を探究したいという欲求にかられた」と述べています。

ベートーヴェンが「第九」の作曲に本格的に取り組んだのは1823年春頃からです(『歓喜に寄す』に曲を付けるというアイディアを含め、それより少し前のスケッチに原型を見出せるパッ

セージもあります)。彼にしては珍しく、この時期は「第九」の作曲に専念し、第1楽章から第4楽章まで順に書き進めていきました。そして1824年初頭に完成。同年5月7日にウィーンのケルンテン門劇場で初演され、拍手喝采の大成功を収めたと伝えられています。

この作品の最大の特徴は、なんといっても第4楽章でフリードリヒ・フォン・シラーの詩『歓喜に寄す』が歌われる点です。たしかに、交響曲に声楽が用いられることはまったく前例がないわけではないのですが、これほど効果的に、かつ強いメッセージ性を持って歌われる交響曲は史上初といえるでしょう。ただしベートーヴェンにとってもこれは容易なことではなかったようで、かなり構想が進んだ段階でさえ、「器楽フィナーレ」の可能性も考えていたことがスケッチからうかがえます。

第1楽章は、長調とも短調ともつかない曖昧で神秘的な響きのなかから少しずつ主題が輪郭をなしてゆき、総奏でニ短調の主題が力強く奏される、という斬新な始まり方をします。その主題はフーガなどさまざまに展開されてゆきます。**第2楽章**はティンパニが活躍するスケルツォ。4度下行 (D-A) という第1楽章の主題と緩やかな関連をもって始まるこの楽章は、初演のときには大喝采のために演奏が中断されるほどだったそうです。**第3楽章**は自由な変奏形式による緩徐楽章で、アダージョのたいへん美しい主題とアンダンテのメヌエット主題とが交互に奏されます。そして激しい不協和音とともに**第4楽章**へ。第1～3楽章の楽想が短く回想されたあと、低弦が静かに「歓喜の主題」を導きます。その後、バリトンのソロが「おお、友よ、このような音ではなく」とそれらを否定し、「もっと快い、喜びに満ちた調べを歌おうではないか!」と歌い出します。ここはシラーの詩ではなく、ベートーヴェンが熟考の末に決めた歌詞です。そしてようやく『歓喜の歌』の旋律が歌われるのです。途中に挿入されるトルコ行進曲では、それまでとは雰囲気が一変し、打楽器やピッコロ、コントラファゴットという、当時の「普通の」オーケストラではほとんど用いられなかった楽器が使われ、異質感が強調されます。やがて「歓喜の主題」に「抱き合おう、数百万の人々よ!」の主題が対位法的に結び付けられ、壮大なクライマックスに達します。

「第九」はワーグナーの『マイスタージンガー』と同様、アドルフ・ヒトラーが好んだ作品であり、第二次世界大戦中はナチス・ドイツのプロパガンダに悪用されたという暗い過去もあります。しかしだからといって、これらの作品の価値が損なわれることはないはずです。むしろ世界各地で残虐な行為が行われている今、「第九」の理念——「すべての人は兄弟になる」——は私たちにとって大切なメッセージなのではないでしょうか。

(越懸澤麻衣)

Ludwig van Beethoven : Symphony No. 9 in D minor, op. 125 “Choral” — 4th Movement

[Beethoven]
O Freunde, nicht diese Töne!
Sondern laßt uns angenehmere anstimmen,
und freudenvollere!

An die Freude [Schiller]
Freude, schöner Götterfunken,
Tochter aus Elysium,
Wir betreten feuertrunken,
Himmlische, dein Heiligtum!
Deine Zauber binden wieder,
was die Mode streng geteilt,
alle Menschen werden Brüder,
wo dein sanfter Flügel weilt.

Wem der große Wurf gelungen,
eines Freundes Freund zu sein,
Wer ein holdes Weib errungen,
mische seinen Jubel ein!
Ja, wer auch nur eine Seele
sein nennt auf dem Erdenrund!
Und wer's nie gekonnt, der stehle
weinend sich aus diesem Bund.

Freude trinken alle Wesen
an den Brüsten der Natur,
alle Guten, alle Bösen
folgen ihrer Rosenspur.
Küsse gab sie uns und Reben,
einen Freund, geprüft im Tod,
Wollust ward dem Wurm gegeben,
und der Cherub steht vor Gott.

Froh, wie seine Sonnen fliegen
durch des Himmels prächt'gen Plan,
laufet, Brüder, eure Bahn,
freudig, wie ein Held zum Siegen!

Seid umschlungen, Millionen!
Diesen Kuß der ganzen Welt!
Brüder! Über'm Sternenzelt
muß ein lieber Vater wohnen.
Ihr stürzt nieder, Millionen?
Ahnest du den Schöpfer, Welt?
Such' ihn über'm Sternenzelt!
Über Sternen muß er wohnen.

ベートーヴェン： 交響曲 第9番 ニ短調 op. 125 「合唱付き」 — 第4楽章

[ベートーヴェン：詩]
おお、友よ、このような音ではなく
もっと快い、喜びに満ちた調べを
歌おうではないか!

“歓喜に寄す” より [シラー：詩]
歓喜よ、神のような美しい輝きよ、
楽園の娘よ
われらは熱情に酔いしれて
あなたの天のような神殿に踏み入る!
あなたの不可思議な力は、世の習いが
厳しく切り離したものを結び合せ、
あなたの優しい翼が憩うところ
すべての人は兄弟になる。

大いなる恵みを受けたもの
真の友情を得たものよ、
いとしい女性の愛をかし得たものよ、
ともにあげよ喜びの声を!
そうだ、たとえ人の心一つだけでも
地上で我がものと呼ぶうる人もともに!
これらのことができなかったものは
涙して、この仲間から去って行くがいい。

すべて世にあるものは
自然の胸から歓喜を飲み、
すべての善人、すべての悪人は
自然のバラの小径を歩む。
自然はわれらに口づけとぶどうを、
死によっても隔てられぬ友を与えられた。
虫けらにも楽しみが与えられ
天使ケルビムも神の前にたたずむ!

いくつもの神のごとき太陽が、
壮大な天空の軌道を飛びいくように、
兄弟たちよ、自らの道を進め、
英雄が勝利の道を進み行くように。

抱き合おう、百万の人々よ!
全世界にこの口づけを!
兄弟よ、星空のかなたに、
愛する父は住み給うのだ。
ひざまずいたか、百万の人々よ?
創造の主を感じられるか、世界の民よ?
星空のかなたに主を求めよ!
星の遥かに主は住み給うのだ。

名曲全集2026-2027シーズンも、どうぞご期待ください！

ミューザ川崎シンフォニーホール&東京交響楽団

名曲全集 2026-2027シーズン 各回 14:00 開演

前期

第216回 2026年4月25日(土)

指揮：パブロ・エラス＝カサド

シュペルト：交響曲 第7番「未完成」
ブルックナー：交響曲 第6番

第217回 2026年5月17日(日)

指揮：ロレンツォ・ヴィオッティ(東京交響楽団 次期音楽監督)

〈音楽監督就任披露〉
ベートーヴェン：交響曲 第1番
マーラー：交響曲 第1番「巨人」

第218回 2026年6月14日(日)

指揮：オスモ・ヴァンスカ

ベートーヴェン：交響曲 第8番
ラフマニノフ：交響曲 第2番

第219回 2026年7月11日(土)

指揮：熊倉 優 ヴァイオリン：ドミトロ・ウドヴィチenko

モーツァルト：歌劇『ドン・ジョヴァンニ』序曲
コルンゴルト：ヴァイオリン協奏曲
R. シュトラウス：交響詩「ドン・ファン」
R. シュトラウス：交響詩「死と変容」

第220回 2026年9月26日(土)

指揮：ユベール・スダーン(東京交響楽団 桂冠指揮者)

ピアノ：アレクサンドラ・ドヴガン

メンデルスゾーン：序曲「フィンガルの洞窟」
ショパン：ピアノ協奏曲 第2番
メンデルスゾーン：交響曲 第4番「イタリア」

後期 第221回 2026年10月10日(土)

指揮：ロレンツォ・ヴィオッティ(東京交響楽団 次期音楽監督)

J. S. バッハ(齋藤秀雄編)：シャコンヌ
ショスタコーヴィチ：交響曲 第10番

第222回 2026年12月5日(土)

指揮：沼尻竜典 ソプラノ：船越亜弥
メソ・ソプラノ：山際さみ佳 テノール：澤武紀行
バリトン：池内 響 合唱：東響コーラス
武満 徹：混声合唱のための「うた」から“翼”
武満 徹(沼尻竜典編)：混声合唱のための「MI・YO・TA」
武満 徹：混声合唱のための「うた」から“小さな空”
ベートーヴェン：交響曲 第9番「合唱付き」

第223回 2027年1月23日(土)

指揮：大井 駿

モーツァルト：歌劇「魔笛」序曲
モーツァルト：交響曲 第39番
J. シュトラウス2世：皇帝円舞曲
R. シュトラウス：「ばらの騎士」組曲

第224回 2027年2月14日(日)

指揮：喜古恵理香 ピアノ：デジュ・ラーンキ
武満 徹：3つの映画音楽 モーツァルト：ピアノ協奏曲 第23番
シベリウス：交響曲 第2番

第225回 2027年3月28日(日)

指揮：大友直人(東京交響楽団 名誉客演指揮者) チェロ：北村 陽
ドビュッシー：小組曲 サン＝サーンス：チェロ協奏曲 第1番
チャプリエ：狂詩曲「スペイン」
ドビュッシー：交響詩「海」管弦楽のための3つの交響的素描

	S席	A席	B席	C席	ミューザ友の会& 東響会員先行発売	ミューザWeb& TOKYO SYMPHONY オンラインチケット 先行発売	一般発売
年間セット券[10公演]	51,000円	43,500円	33,750円	26,250円	12月8日(月)	12月11日(木)	12月16日(火)
前期セット券[5公演] (第216回～第220回)	26,800円	22,800円	18,000円	14,000円	2026年2月3日(火)	2026年2月5日(木)	2026年2月10日(火)
後期セット券[5公演] (第221回～第225回)	27,600円	23,600円	18,000円	14,000円	2026年6月2日(火)	2026年6月4日(木)	2026年6月9日(火)
1回券 (第217・221・222回)	7,500円	6,500円	4,500円	3,500円	前期1回券は、前期セット券と同時発売 後期1回券は、後期セット券と同時発売 *友の会・東響会員は10%割引		
1回券 (第216・218～220・223～225回)	6,500円	5,500円	4,500円	3,500円			

25歳以下当日券
(学生に限らず25歳以下の方) 1,000円(要問合せ)*セット券のミューザ友の会・東響会員料金はありません。
*セット券の取り扱いには、ミューザ川崎・TOKYO SYMPHONYチケットセンターのみ。
*年間・前期セット券は2026年3月20日(金・祝)、後期セット券は2026年9月19日(土)までの
販売です(販売終了当日はミューザ窓口直接購入のみ)。

お問合せ・お申込み

*ミューザ友の会会員の先行予約・割引販売は因にて受付。*ミューザ友の会先行発売初日は電話予約とWebのみ受付。
*最新の開催情報・残席状況は公式サイトでご確認ください。https://www.kawasaki-sym-hall.jp/

■ミューザ川崎シンフォニーホール

☎ 電話予約 044-520-0200(10:00～18:00)
📍 4階チケットカウンター 10:00～19:00
🌐 ミューザWebチケット https://muza.pia.jp/
(登録無料・24時間受付 ※火・水 2:30～5:30を除く) 発売初日は10:00～

■TOKYO SYMPHONY チケットセンター

044-520-1511(平日10:00～18:00/土日祝休み)
TOKYO SYMPHONY オンラインチケット
https://tokyosymphony.jp 発売初日は10:00～
*東響会員の先行予約・割引販売を受け付けます。セット券も
Webで
購入可能に！

モーツァルト・マチネ 第64回

2026年2月14日(土) 11:00開演(約70分/途中休憩なし)

ニ長調で聴くモーツァルト

原田慶太楼が贈る、定番曲だけに縛られないモーツァルトの「ニ長調」作品集。
国内外で活躍を続けるヴァイオリニスト・成田達輝の美しい音色とともに魅力あふれる
名作たちをお楽しみに。指揮：原田慶太楼(東京交響楽団 正指揮者)
ヴァイオリン：成田達輝*
管弦楽：東京交響楽団

〈オール・モーツァルト・プログラム〉

- ◆ 歌劇『ドン・ジョヴァンニ』序曲 K. 527
- ◆ 交響曲 第4番 ニ長調 K. 19
- ◆ ???(ミステリーピース) ～当日のお楽しみ～
- ◆ 交響曲 第31番 ニ長調 K. 297(300a)「パリ」
- ◆ ヴァイオリン協奏曲 第2番 ニ長調 K. 211*

原田慶太楼
©Kumiko Suzuki成田達輝
©Marco Borggrieve

4,000円※ U25 (小学生～25歳) 1,500円

好評発売中！

※ミューザ友の会会員は10%割引

モーツァルト・マチネ 2026-2027シーズン

ラインナップ発表！

詳しくは挟み込みチラシ&
ミューザ公式サイトをご覧ください。第65回
2026年5月2日(土)
鈴木秀美第66回
2026年9月12日(土)
ロレンツォ・ヴィオッティ第67回
2026年10月31日(土)
太田 弦第68回
2027年3月7日(日)
下野竜也

お問合せ・お申込み

ミューザ川崎シンフォニーホール
TEL 044-520-0200*U25の取り扱いはミューザとびあのみ(電話・窓口・Web)
*最新の開催情報は公式サイトでご確認ください。https://www.kawasaki-sym-hall.jp/

- 電話予約 10:00～18:00
- 4階チケットカウンター 10:00～19:00
- ミューザWebチケット https://muza.pia.jp/ (登録無料・24時間受付 ※火・水 2:30～5:30を除く)

ミューザ川崎シンフォニーホール×東京交響楽団×ロレンツォ・ヴィオッティ指揮

シュミット：オラトリオ「7つの封印の書」

～次期音楽監督が挑む、後期ロマン派の壮麗なるオラトリオ～

2026年9月21日(月・祝) 14:00開演

指揮：ロレンツォ・ヴィオッティ(東京交響楽団 次期音楽監督)

テノール(ヨハネ)：マキシミリアン・シュミット

バス(神の声)：フランツ＝ヨゼフ・ゼーリヒ

ソプラノ：クリスティーナ・ランツハマー

メゾ・ソプラノ：カトリオーナ・モリソン

テノール：パトリック・グラール

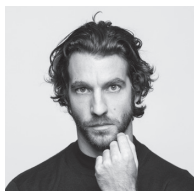
バス・バリトン：クレシミル・ストラジャナツツ

パイプオルガン：大木麻理

合唱：東響コーラス

管弦楽：東京交響楽団

◆フランツ・シュミット：オラトリオ「7つの封印の書」(ドイツ語上演/日本語字幕付き)



ロレンツォ・ヴィオッティ
©Jan Willem Kaldenbach



マキシミリアン・シュミット
©Christian Kargl



フランツ＝ヨゼフ・ゼーリヒ
©Marion Koell



クリスティーナ・ランツハマー
©Marco Borggreve



カトリオーナ・モリソン
©Jeremy Knowles



パトリック・グラール
©Guid Werner



クレシミル・ストラジャナツツ
©Patrick Vogel



大木麻理
©Mari Kusakari

S 16,000円 A 13,000円 B 10,000円 C 8,000円 U25 (小学生～25歳) 各席半額

発売日：ミューザ友の会会員先行発売 2026年5月 4日(月・祝)

ミューザWeb先行発売 2026年5月 7日(木)

一般発売 2026年5月12日(火)

※ミューザ友の会会員は10%割引

お問合せ・お申込み

※最新の開催情報は公式サイトでご確認ください。 <https://www.kawasaki-sym-hall.jp/>

ミューザ川崎シンフォニーホール
TEL 044-520-0200

■電話予約 10:00～18:00
■4階チケットカウンター 10:00～19:00
■ミューザWebチケット <https://muza.pia.jp/> (登録無料・24時間受付 ※火・水2:30～5:30を除く)

ジュニアフォトグラファーズ

身近な自然をテーマに、子どもたちの環境意識を高め、豊かな感性を育む「写真教室」を開催しています。



綴 TSUZURI プロジェクト

貴重な日本の文化財の高精細複製品を制作し、広く公開することで文化財の継承に貢献しています。



光と色のじっけん室

カメラやプリンター技術の根幹にある光と色の原理について学べる実験プログラムを科学技術館で開催しています。



ともに、未来へ。

喜びや感動に満ちた次世代の豊かな暮らしのために。

キヤノンは、事業で培った技術や知識を生かし、

芸術、文化、教育などのさまざまな分野で社会貢献活動を行っています。

Canon

make it possible with canon

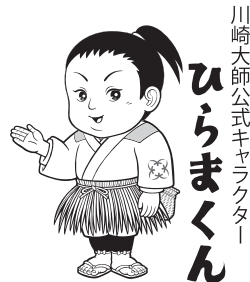
やくよけ・家内安全・交通安全・商売繁昌

川崎大師

大本山 川崎大師平間寺

京急川崎駅から京急大師線で川崎大師下車
JR川崎駅東口からバスで大師バス停下車

<https://www.kawasakidaishi.com>
公式Instagram更新中!



「小さなお仕事」をされている方に特化



東京地方税理士会川崎北支部所属

高橋昌也

高橋昌也 税理士・FP事務所

所得税

法人税

消費税

他

経理、税務申告、事業計画作成等、
まずはお気軽にご相談下さい。

※初回相談は無料です。

個人・団体を問わず、音楽をはじめとした
文化芸能・スポーツ活動のお手伝いをしています。

TEL: 044-829-2137

〒213-0012 神奈川県川崎市高津区坂戸2-17-7 (駐車場完備)
最寄り駅: 武蔵溝ノ口駅 または 武蔵新城駅
ご連絡を頂ければ、駅まで車で送迎させていただきます。

高橋昌也 税理士 検索

ミュージザ川崎シンフォニーホールの公演事業は
ホールスポンサーの皆様によって支えられています

(敬称略・50音順)

・法人・

・特別賛助会員

川崎幸病院
川崎信用金庫

キャノン株式会社
サントリーホールディングス株式会社

ジェクト株式会社
三井不動産グループ

・賛助会員

税理士法人あおぞら会計
株式会社イープラス
ENEOS株式会社
神奈川臨海鉄道株式会社
川崎アゼリア株式会社
公益社団法人川崎市医師会
川崎市信用保証協会
公益社団法人川崎市病院協会
一般社団法人川崎市薬剤師会
川崎鶴見臨港バス株式会社
川崎日航ホテル

かわさきファズ株式会社
川崎臨港倉庫埠頭株式会社
ケイジーケイ株式会社
京浜楽器株式会社
公益財団法人JFE21世紀財団
株式会社シグマコミュニケーションズ
セレサ川崎農業協同組合
大本山川崎大師平間寺
高橋昌也税理士・FP事務所
株式会社デイ・シイ
東亜石油株式会社

株式会社東芝
日本冶金工業株式会社 川崎製造所
びあ株式会社
ホテルメトロポリタン 川崎
ヤマハサウンドシステム株式会社
株式会社ワイイーシーソリューションズ
*
大宮町町内会

他3法人

・わくわくミュージザ 法人サポーター

稲毛神社

おつけもの慶

・個人・

阿部孝夫
新井智彦
市橋信一郎
井上敏昭
宇佐美清一
遠藤智和
大越麻美子
大須賀徳也
大塚具幸

岡垣克則
小笠原 将
岡田 元
岡野 功
小倉ヒロ・ミハエル
小野洋彰
金山直樹
喜多統一
木伏源太

久住映子
小菅みつほ
国府保周
後藤 実
小林知子
佐伯 昇
佐藤晴茂
佐野義寛
新保和浩

杉山弘子
鈴木 徹
高井延幸
高橋美子
竹内啓介
都築 豊
中村紀美子
西 洋子
西山英昭

長谷川喜代江
林 直人
廣瀬治昇
藤嶋とみ子
堀江智巳
前田 泉
松嶋邦生
山内利夫
山下啓史

山田昌克
A.H
D.Y
K.O
M.C
N.A
T.Y
他匿名16名

(2025年11月25日現在)

|| ご支援のお願い ||

ミュージザ川崎シンフォニーホールは川崎はもとより、世界における音楽文化の発展に尽力してまいります。
芸術にご理解の深い法人、個人の皆様にご支援をお願いしております。
多くの皆様のご協力を心よりお願い申し上げます。
詳しくはスポンサー担当 (TEL 044-520-0100) までお問合せください。

